



株式会社 リロ・ホールディング

2006年3月期 中間連結業績



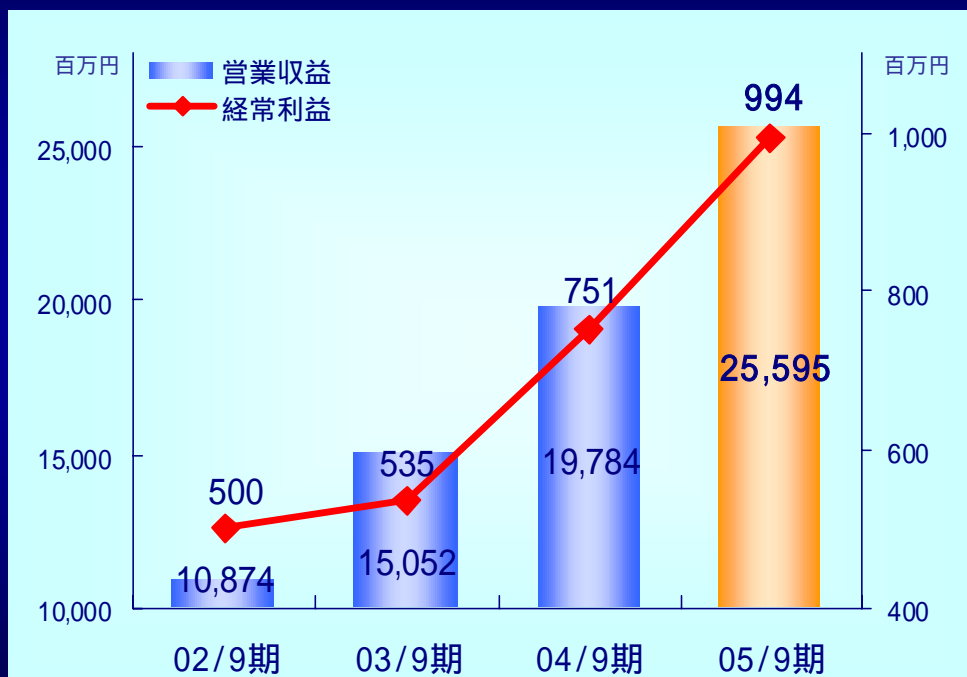
営業収益、経常利益、当期純利益のいずれも中間期として過去最高

単位:百万円

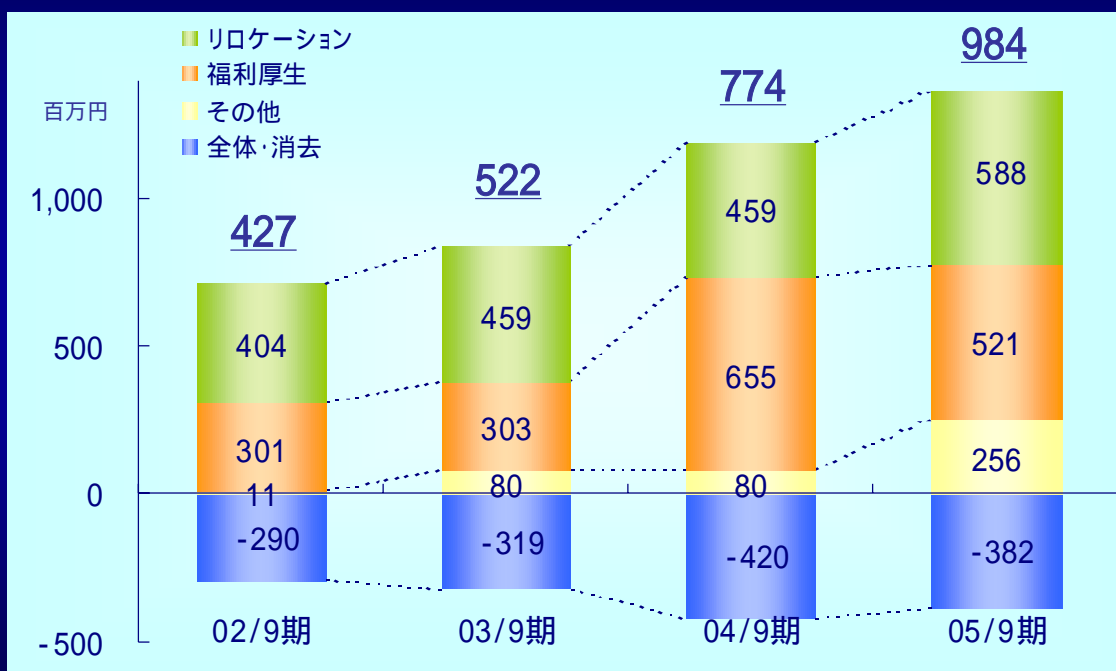
	05/9期 中間実績	04/9期 中間実績	前年比	05/9期 中間計画	計画比
営業収益	25,595	19,784	+ 29.4%	25,000	+ 2.4%
営業利益	984	774	+ 27.0%	750	+ 31.2%
経常利益	994	751	+ 32.4%	750	+ 32.6%
当期純利益	492	231	2.13倍	350	+ 40.7%
*EPS(円)	32.82	15.44	2.13倍	23.32	+ 40.7%
ROE(%)	6.1%	3.2%	-	4.4%	-

*EPSについては、現在の株式数(15,009,720株)で算出

- 連結業績推移 -



- セグメント別営業利益推移 -



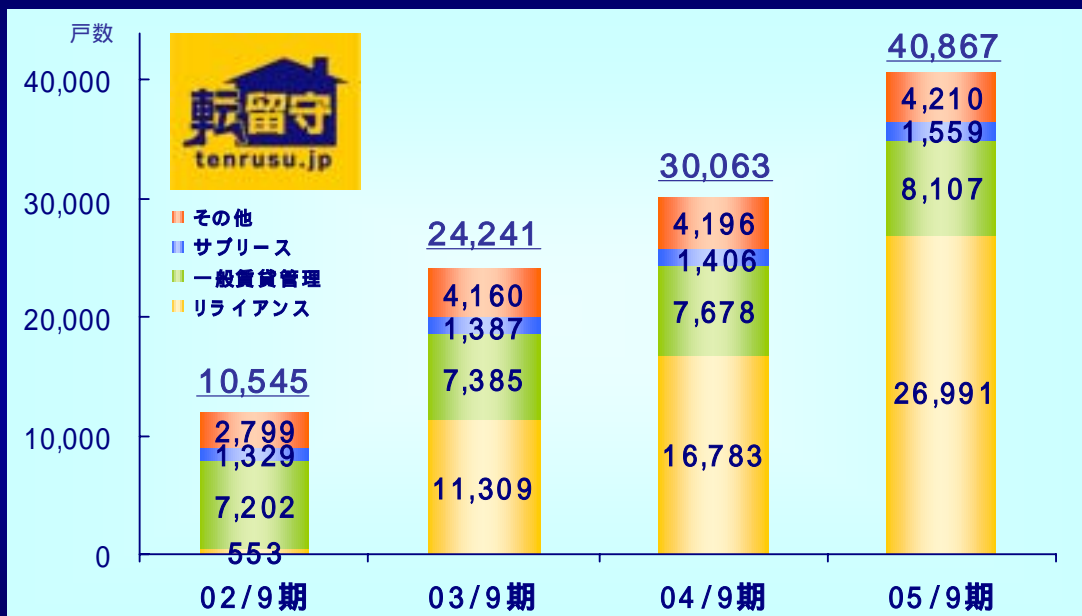
* 下線数字は連結営業利益



リロケーション事業セグメント



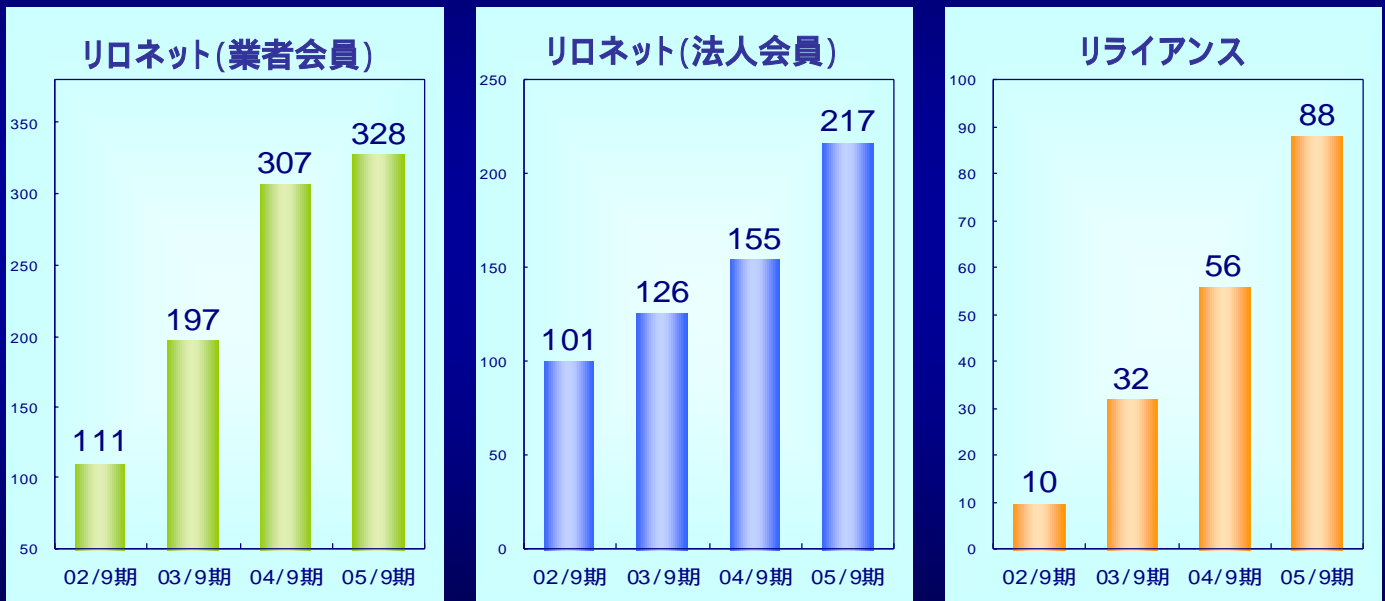
- 総管理戸数推移 -



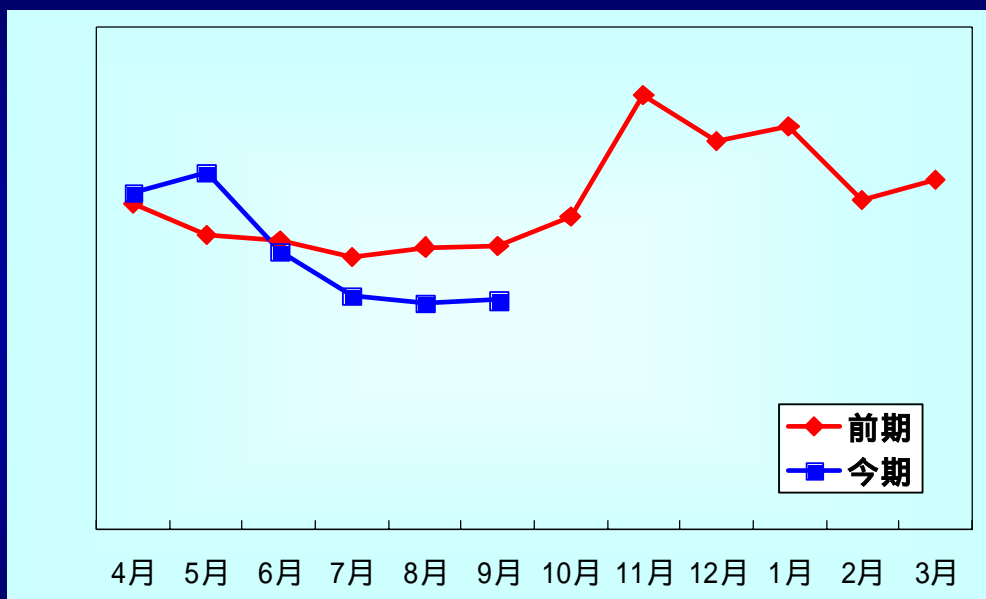
リライアンスを中心に管理戸数は順調に拡大、4万戸を超過

- 法人サービス契約社数推移 -

単位:社数

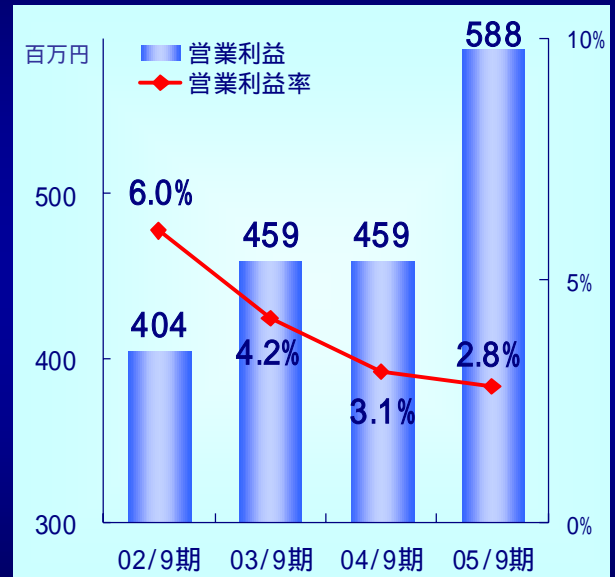
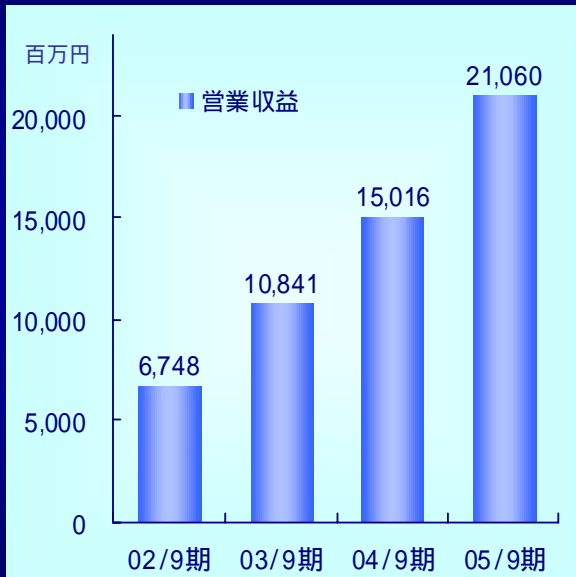


- リライアンス一戸当たり原価推移 -



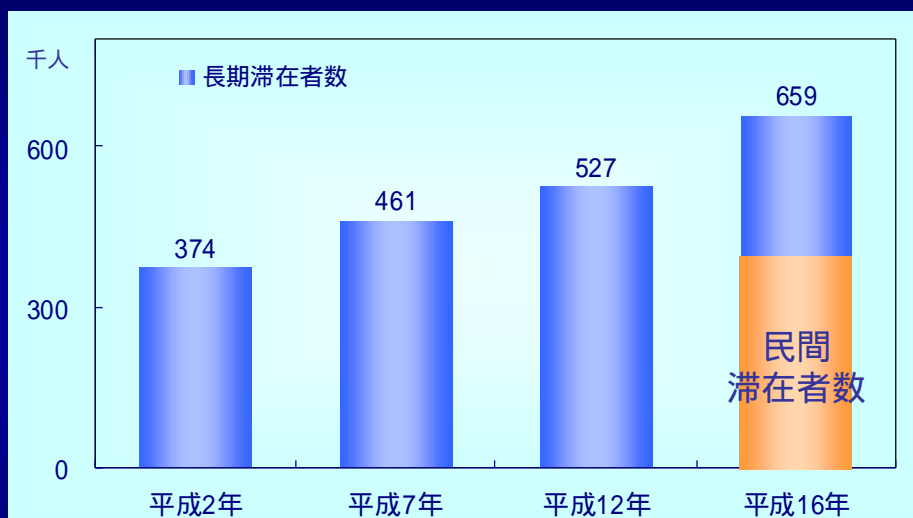
一戸当たり原価の改善に加え、管理戸数増加により大きく利益貢献

- 業績推移 -



ストック積上により大幅な増収増益を実現

- 海外在留邦人数の推移 -



* 参考 「海外在留邦人数調査統計」

バブル後も堅調な伸びを示しており、今後も増加傾向を予想
長期滞在者のうち北米・アジアで7割占める

- 海外リロケーションの事業会社概要 -

商号:

Redac, Inc.

主な事業内容:

企業の米国進出に関わる各種サポート、商業不動産仲介、住宅不動産管理、短期滞在型アパートメント運営

設立: 1986年2月

資本金: 186千ドル

業績: 売上9,762千ドル

(2004年12月期)



商号:

株式会社リロケーション・エキスパートサービス

主な事業内容:

海外赴任手続きのトータルサポート、赴任期間中の国内/赴任地での生活総合支援、「海外赴任navi」の運営

設立: 2005年6月

資本金: 50百万円



Redac, Inc.の経営権取得により、海外赴任地でのサポートが強化されたことから、一気通貫でのサービスを提供

リロケーション・
ジャパン



リロケーション・
エキスパートサービス



REDAC, INC.



【新トップ画面】



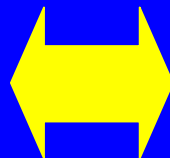
【旧トップ画面】



転勤者に限らず、職域における住み替えニーズ等のサービスを拡充
業務提携も活用し利用拡大を推進

- 総括 -

- トータルサービスを推進した結果、リライアンスだけでなく、**各サービスにおける管理件数が増加**
- 有事工事センターなどの**新規事業開発**のコスト負担を吸収し、近年に立ち上げた事業の利益貢献大
- **海外現法との連携強化、海外赴任に特化した新サービス**による収益源の多様化への取組

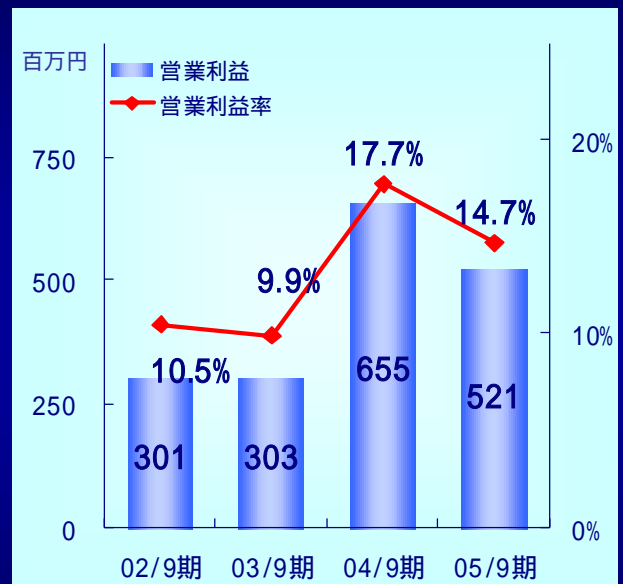
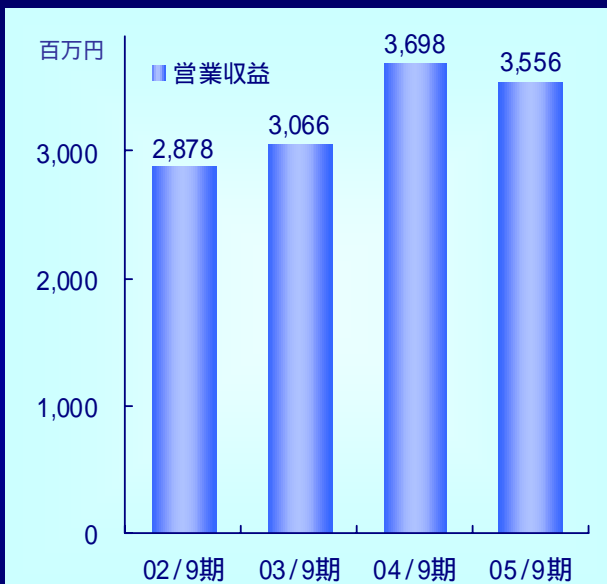




福利厚生代行サービス事業セグメント

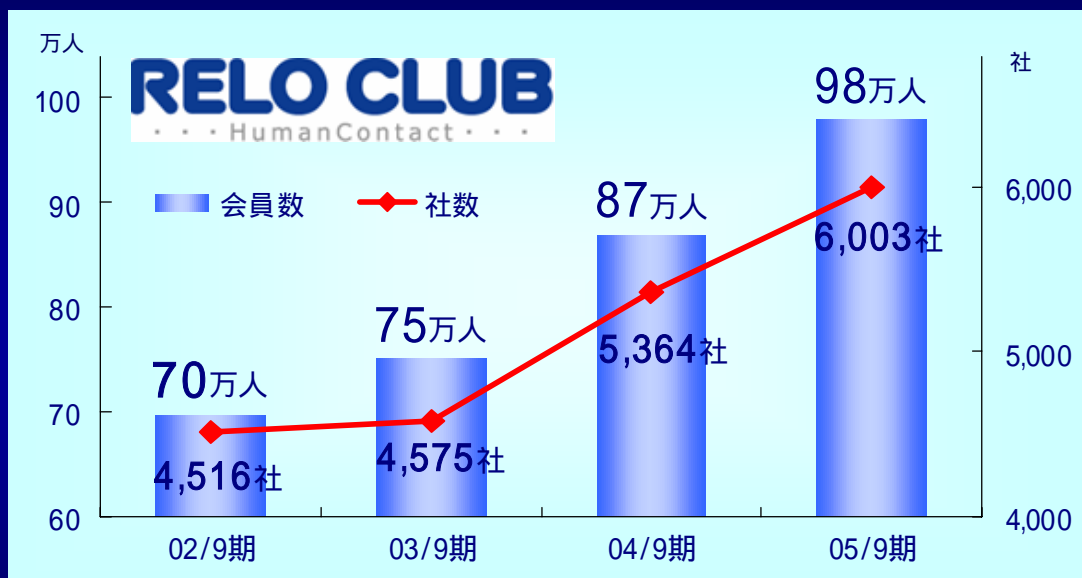


- 業績推移 -



「福利厚生」が堅調に推移した一方で、「クラブオフ」の印刷受注が変動した他、プロモーション強化により販促費用増加

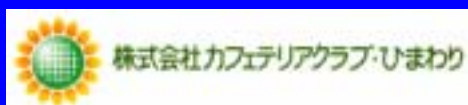
- 福利厚生アウトソーシング 会員数・企業数推移 -



* 今期よりカウント方法を一部変更

「総合EAPサービス」を押し出した営業展開の結果、競合他社との差別化が図れたことに加え、M & Aも寄与

- 「カフェテリアクラブひまわり」の概要 -



商号: 株式会社カフェテリアクラブひまわり

主な事業内容: 福利厚生アウトソーシング受託

設立: 2000年2月

資本金: 499百万円

業績: 売上218百万円(平成17年3月期)

会員数: 4万人

- 人事部が考える福利厚生 -

従来型福利厚生

少子高齢化
雇用流動化
自己責任

今後の福利厚生(総合EAP)

メンタルケア

育児・介護

自己研鑽

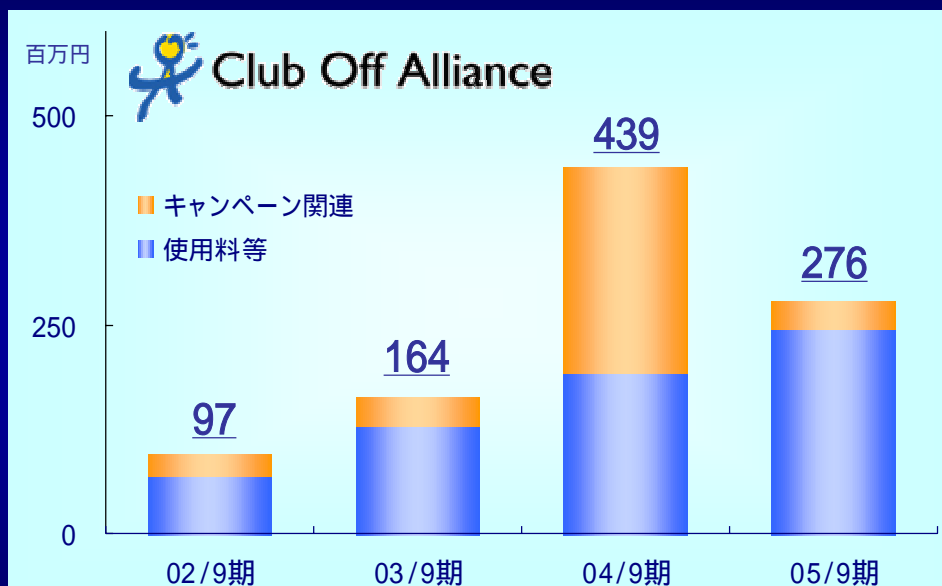
退職者支援

保養所

レジャー施設

雇用環境の変化に伴い、福利厚生は日常生活サポートへ

- 「クラブオフ」営業収益推移 -



サービス使用料、送客手数料が順調に増加した一方で、
キャンペーン関連受注が減少

「クラブオフ」ビジネスモデル



- 総括 -

< 福利厚生倶楽部 >

- 次世代育成支援法の対応サポート等、総合EAPによる顧客ニーズ先取と差別化推進 (Employee Assistance Program)
- マーケットの寡占化傾向により、価格競争は沈静化の様相
- 地方公共団体の導入も活発

< クラブオフ >

- 新規獲得は順調に推移
- 利用数は前年比倍増で推移、引き続き顧客毎のキャンペーンを企画強化
- 株主優待マーケットにも積極的に推進



その他の事業セグメント

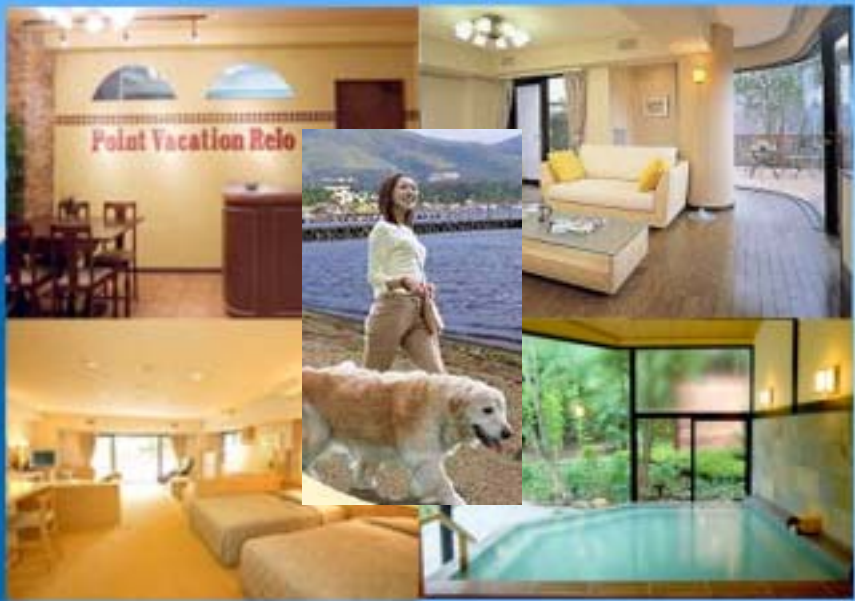


- 会員制リゾート事業 -



販売ノウハウの蓄積と拠点数増加により、業績が倍増

—「ポイントバケーションリロ」—



上期に軽井沢、志賀高原の2施設を開設
下期は山中湖にペット帯同施設の開設を予定



通期業績について

計画達成に向け積極的な事業展開

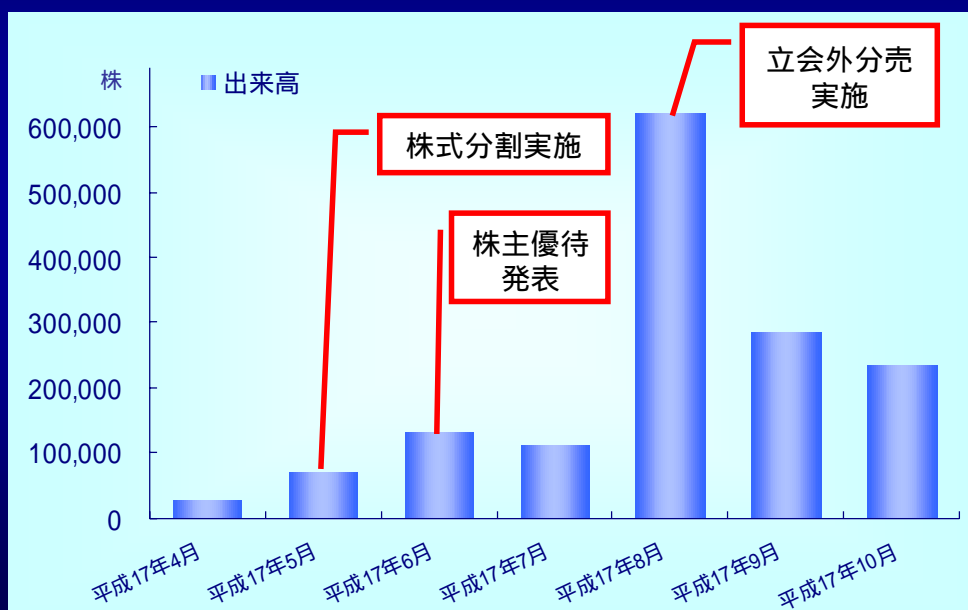
単位: 百万円

	06/3期 計画	05/3期実績	増減	前年比
営業収益	55,000	42,240	+ 12,759	+ 30.2%
営業利益	2,350	2,080	+ 269	+ 12.9%
経常利益	2,350	2,100	+ 249	+ 11.9%
当期純利益	1,050	810	+ 239	+ 29.5%
* EPS (円)	69.95	54.03	+ 15.92	+ 29.5%
ROE (%)	12.7%	10.8%	+ 1.9%	-

* EPSについては、利益金処分前の当期純利益および現在の株式数(15,009,720株)で計算

経営基盤強化の取組

**株式分割、株主優待、立会外分売を実施
マーケットの流動性を改善**

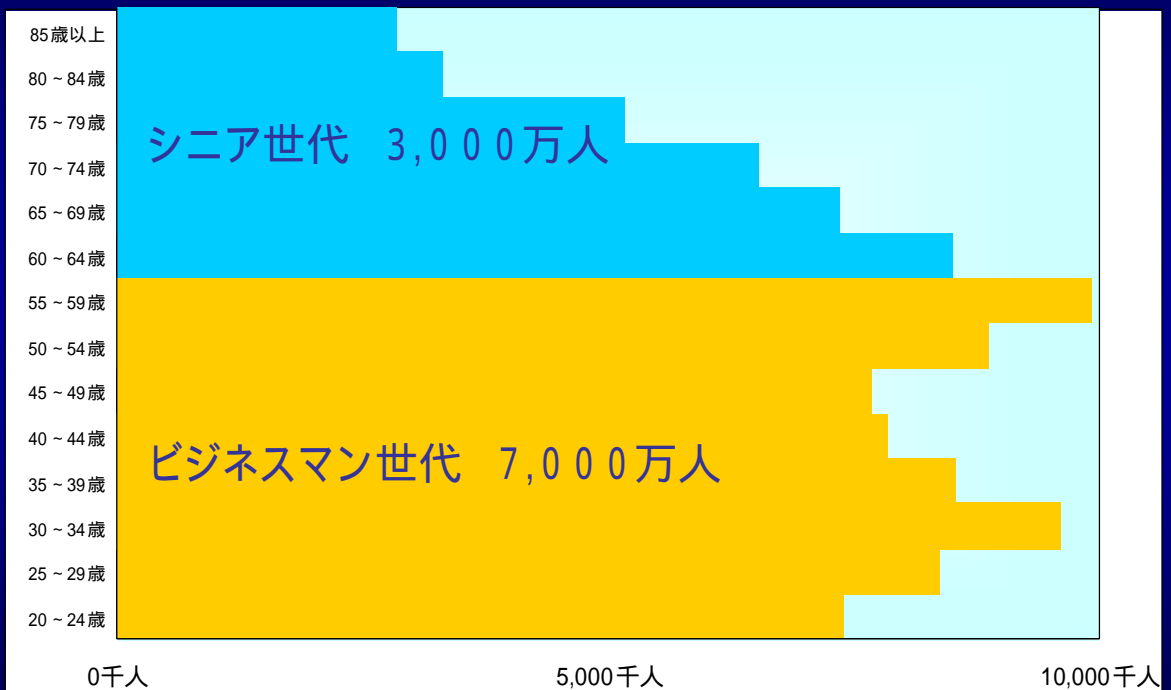




中長期展望



- 人口推計 -



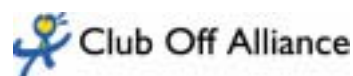
* 参考 「総務省統計局 人口推計」



転勤者サポート



転勤留守宅管理



インセンティブ・プログラム

生活に密着したサービスにより、
会員組織を囲い込み



海外転勤者サポート



福利厚生アウトソーシング



24時間緊急対応

職域マーケットの深堀とともに、退職後マーケットへの取組を強化

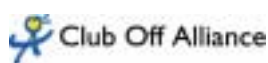


シニア関連
サービス



退職

職域を中心とした会員組織 2,000万人規模へ



福利厚生関連
サービス



住宅関連
サービス





お問い合わせ先

執行役員CFO : 門田 康

企画IRグループ : 北村 真二

TEL: 03-5312-8704 FAX:03-3225-9714

E-Mail: ir@relo.jp

URL : <http://www.relo.jp/>

本資料は、2006年3月期(第39期)中間決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2005年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。